

【大学シーズ情報】 ※印の項目は必須項目ですので、ご記載ください。

◇本事業では、大学の「知財」「技術シーズ」全般を取り扱います。

特許の有無は問いません。

大学名 近畿大学

※研究タイトル	よりよい眠りを得るための方法
※研究者の所属学部 学科、役職、氏名	理工学部 機械工学科 講師 岡田 志麻
技術のポイント	眠りを工学的アプローチで分析
現在の研究開発段階	A 基礎研究段階 ・ B 試作段階 ・ C 実用化段階
※技術の紹介	<p>日本では5人に1が睡眠不満を抱えているといわれている。このため、睡眠を改善する方法が求められているが、特に薬のような常習性のない手法を用いた改善方法が必要とされている。本研究では、簡単に睡眠についての分析を行うために非接触型の睡眠深度モニタリングが行える装置の開発を行い、そのモニタリング結果に基づいて外部からの機械刺激を用いてより良い睡眠をとるための技術の開発を行う。</p> <p>睡眠深度の推定には通常、脳波、脈拍、呼吸数などが用いられるが、このようなモニタリングを行おうとすると多数のセンサーや配線を身体に装着しなければならず、睡眠の妨げになると共に装置も大掛かりなものになる。</p> <p>そこで睡眠中の体動を画像観察することにより、完全非接触かつ簡易な装置で睡眠深度を推定できることを見出した。これにより家庭でも簡単に睡眠深度の推定を行うことができる。良い睡眠を得るための環境設定の効果評価や、発達障害のある小児のスクリーニングを行うことができる。</p>
研究の背景	日本では5人に1が睡眠不満を抱えているといわれている。このため、睡眠を改善する方法が求められているが、特に薬のような常習性のない手法を用いた改善方法が必要とされている。
従来技術より優れている点	完全非接触かつ簡易で低価格な装置で睡眠深度を推定できる。 これにより従来は医療施設でしか行えなかった測定を家庭でも簡単に実施できるようになる。
※技術の 用途イメージ	睡眠深度のモニタリング。 睡眠環境による睡眠改善効果の評価。 発達障害児のスクリーニング。 より良い睡眠を提供するための製品の効果評価。
知財情報	